

平成28年第11回田原市教育委員会定例会会議録

- 1 開会 平成28年11月18日 午前10時00分
- 2 閉会 平成28年11月18日 午前11時40分
- 3 会議に出席した委員
花井 隆教育長、横田 威委員、山本明子委員、
土井真紀江委員、金田真也委員
- 4 会議に欠席した委員
なし
- 5 会議に出席した職員
教育部長 大根義久
教育総務課長 三竹雅雄
学校教育課長 鈴木欽也
生涯学習課長 富田 成
スポーツ課長 大羽耕一
文化財課課長 鈴木利昌
渥美図書館館長 菅沼智子
教育総務課課長補佐 伊藤英洋
教育総務課主任 宮嶋綾子
- 6 議事日程
別紙のとおり

田原市教育委員会第11回定例会議事日程

日 時 平成28年11月18日（金）
午前10時00分
場 所 北庁舎2階 200会議室

- 1 会議録署名者の指名
- 2 教育長報告事項
- 3 議題
 - (1) 泉中学校再編整備方針について
 - (2) 田原市立小中学校冬季休業日の変更について
 - (3) 田原市図書館協議会委員の任命について
- 4 報告事項
 - (1) 教育委員連絡報告事項
 - (2) 平成29年度当初予算要求の概要について
 - (3) 学校再編について
 - (4) 小中学校への寄附について
- 5 その他

教育長

開 会 午前10時00分

御多用のところ御出席くださり、ありがとうございます。

ただいまの出席者は5名であります。

定足数に達していますので、平成28年田原市教育委員会第11回定例会は成立いたしました。

これより開会いたします。

それでは、会議規則第13条第2項の規定により、会議録署名者の指名をさせていただきます。

今回の署名者としては、山本委員と金田委員の御兩名を指名させていただきますので、よろしくお願ひいたします。

それでは、議題に先立ち、教育長報告事項をお願いします。

10月8日、委員さんたちも御出席いただきました市内の小学校のバスケットボール大会でした。

10月15日、田原市消防団ポンプ操法大会や、中学校駅伝大会がありました。東部中学校が男女とも優勝しています。東部中学校の男子は東三大会でも優勝し、知多での県大会に出場予定です。

10月16日、渥美半島ぐる輪サイクリングがありました。半島内を自転車が行き交い、約1,400人の参加がありました。

10月20日、東部中学校で矢野きよ実さんの講演会がありました。今、横浜でのいじめで、福島から避難してきた子どもに対して厳しい言葉が飛んだり、お金をもらっているだろうというようなことで、恐喝まがいのことが起きています。矢野きよ実さんは、前々から、青森に避難した被災者の子たちが、放射能汚染とか言われているというようなことも、田原の幾つかの会場で伝えておりました。今回、横浜で大きく取り上げられましたが、本当にあってはいけない、いじめを超えた犯罪に近い部分ではないかと感じております。

なお、講演会当日に矢野きよ実さんが書の実演会を行いました。子どもたちが矢野さんを取り囲んで、書の実演で大きな字を書いてくれました。

それから、嚶鳴フォーラムや東大寺サミットがありました。

10月27日、赤羽根小学校、大草小学校で研究発表会がありました。また委員さんたちからも御報告いただけるかなと思います。

11月3日、福祉の心をはぐくむ集いが田原文化会館でありました。

11月10日、後ほど報告があると思いますが、教育部の予算ヒアリングがありました。

11月11日は、田原市教育懇談会がありました。これは田原市教員組合執行委員長の主催で、県議会議員や文教厚生委員長、教育委員会のメンバー、それから校長会のメンバーというような形で、田原の教育について語るというものでした。これについても、多忙化の問題が話題になりました。

教育総務課長

11月12日、小学校の学芸会では、私は伊良湖岬小学校へ行きましたので、また皆さんからの報告をお願いします。

11月13日、福祉のつどいでは、蓮池薫さんの講演会も満席で、会場からあふれるほど盛況でした。

11月14日、少年少女発明クラブの表敬訪問がありました。これは、子どもたちが発明したものを、県大会を通過して、11月の終わりの全国大会で、予選をして、結構上位入賞が期待されています。テーマは、東京オリンピックのサーフィンを渥美・田原市へというものです。

11月17日、きのうは文教厚生委員会でした。きょう議題となっている泉中学校の再編整備方針について報告させていただいております。

きょうは教育委員会定例会で、あす、また学芸会がありますので、委員の皆様もよろしくをお願いします。私は赤羽根小学校へ行きます。

中部・北陸実業団駅伝大会が、あす、開会式があり、日曜日は本番です。

11月23日には、シンポジウム「渥美半島の縄文文化をさぐる」の予定です。大学の先生を含めた方々で行うシンポジウムです。

何か御質問等がありましたら、お願いいたします。

では、以上で教育長報告事項を終わります。

では、議題に入りたいと思います。

初めに、議案第28号 泉中学校再編整備方針について議題といたします。事務局の説明をお願いいたします。

議案第28号 泉中学校再編整備方針について別添のとおり定めるものでございます。

1枚おめくりいただきまして、泉中学校再編整備方針(案)をごらんください。

初めに、教育委員会におきましては、小中学校の規模適正化を図るため、平成26年12月に策定した学校全体配置計画に基づきまして、今、学校再編に取り組んでいるところでございます。

泉中学校の統合につきましては、小規模化を回避するため、平成27年7月に泉中学校再編検討委員会を設置して、地域の方々と協議を重ねてまいりました。

平成28年7月28日の泉中学校再編検討委員会では、統合先を赤羽根中学校、統合時期を平成33年度とする教育委員会の方針案をお示ししました。その後、9月8日の泉中学校再編検討委員会におきまして、方針案について協議し、その結果、承認はされましたが、統合時期については全会一致ではなかったため、附帯決議という形で、改めて広く地域の皆さんに、全世帯、全保護者に、再編検討委員会の検討状況、統合時期の問題点をより深く理解していただくために、お知らせ文書を配付して情報提供をしてまいりました。

お知らせ文書につきましては、参考資料としてつけてございます。

これにつきましては、10月の定例会のときにも説明させていただいたものでございますので、よろしくお願いたします。

そして、このたび、10月24日、泉中学校再編検討委員会委員長である泉校区のコミュニティ協議会長から、学校統合の情報も十分理解され、泉校区の共通した総意として、教育委員会が示した方針案のとおり決定した旨の報告書が提出されましたので、泉中学校再編整備方針を定めるものでございます。

泉中学校再編整備方針案をおめくりいただきますと、資料として、泉中学校の再編について、泉中学校再編検討委員会委員長から出された報告書がございます。

お知らせを出し、皆さんに十分、以降の状況を確認していただいたということ、泉校区の統合を十分に理解されて、校区民の共通した総意として決定したという報告をいただいております。これを踏まえて泉中学校の再編整備方針を今回定めるものでございます。

再編の整備方針といたしましては、統合先は赤羽根中学校、統合時期は平成33年4月1日とするものでございます。

今後の進め方といたしましては、統合準備委員会を発足させて、通学体制などについて協議をまいります。

学校施設についても、必要なものについては改善などを進めていくこと、遠距離通学になる生徒の通学手段を確保するために、スクールバスの運行によって通学支援をまいります。

あと、跡地利用についても、地域の意見を尊重して検討していくということになります。

4、参考といたしまして、平成33年度統合時の学校規模が書いてございます。全体の人数が239名、内訳といたしまして、泉中学校が80名、赤羽根中学校が159名という状況でございます。

なお、1年生につきましては35人で1クラスになっておりますので、学級数3と。2年生、3年生につきましては、40人で1クラスになっておりますので、2年生で2クラス、3年生で3クラスという状況になっております。

以上で再編の整備方針についての説明とさせていただきます。

よろしくお願いたします。

教育長

事務局からの説明が終わりました。御質問等ございましたら、お願いたします。

横田委員

平成33年度という統合時期は、決定事項ですか。

教育総務課長

はい。

横田委員

平成31年度に伊良湖岬中学校が福江中学校へ統合ということで、市内の中学校がこれで4校になるわけです。この平成33年度で、田原中学校、東部中学校、福江中学校、赤羽根中学校の全校の生徒数はどのくらいになりますか。大体出ていますか。

教育総務課長	見込みはあります。
横田委員	大体、市が考えているぐらいの規模にはなっているのですか。
教育総務課長	人口の減少傾向がありますので、その動向によって、ゼロ歳児からの人数を拾って集計して推計を出しております。考えている人数があるわけではなくて、学校規模は人口推計によるものです。
横田委員	学校全体配置計画を出したときに、市内は大きく四つの中学校にするという話があつて、それが現実的になってきました。これで中学校の再編が最後ですので、平成33年度の赤羽根中学校が239人ですので、大体の人数を出しておくと思います。
教育総務課長	平成28年4月1日現在の住民基本台帳人口では、中学生が、平成28年度1,799人。平成33年度になりますと、1,700人になります。
横田委員	各学校別ではどうですか。また後で結構です。
教育総務課長	平成28年4月時点で、平成34年度までの見込みが出ております。後ほど資料にて報告させていただきます。
教育長	市内が、この平成33年度に4中学校という形になります。 今、田原市全体の児童生徒数は約5,000人。こうやって行くと、5,000人がだんだん減っていくという状況の中で、中学校が1,700人ぐらいになるということで、減り方は小学校のほうがもっと激しいのかなということも予想はできますけれども、そういう数字をまた教育委員さんに報告してください。
横田委員	もう1点いいですか。 10月24日に泉中学校再編検討委員会の委員長から、再編についての報告書の提出がありました。 その一番下の3番目の項目、「通学路の整備などの統合に向けた課題等について検討し」と書いてあるのですけれども、今後どのような課題が出てくるのか、私たちに教えてほしいなと思います。なぜかというところから話が来て、教育委員会がどのようなことを考えているのかと聞かれたときに私たちが答えられるように、野田中学校、今後、伊良湖岬中学校等で、野田中学校の場合は、ある程度課題というのは出ていると思うのですけれども、例えば通学路の整備って、まずすぐには無理でしょう。
教育総務課長	泉校区コミュニティ協議会長から出ております報告書において、通学路の整備などの統合に向けた課題につきましては、泉地域から赤羽根中学校に向かう県道、そこを含めて通学路の整備を要望しておられます。
横田委員	野田中学校もそういう話があつて、自転車通学者はおりますか。
教育総務課長	最初は、全員路線バスを使用して通学しているのですけれども、この10月の定期の切りかえ時期に1名が自転車通学となりました。 それについては、野田地域内は今までの通学路を使用して、大久保から田原中学校へ向かうところは、大久保の子が使用している通学路

	<p>を使用しております。</p> <p>ただ、泉地域の場合は、八王子から赤羽根へ向かう道路では歩道が完備されていません。</p>
横田委員 教育総務課長	<p>歩道があるのは、農場の信号から集荷場までです。</p> <p>今、市の建設企画課が考えているのは、そこを整備するのか、また別の道路で何かできないか、あと街灯などの通学路の整備をコミュニティも意識しています。</p>
横田委員 教育総務課長 教育部長	<p>それは、泉校区から要望があるのですか。</p> <p>泉校区は泉校区としても、今、建設企画課に話をしている段階です。市長にも泉校区から要望があって、市長から建設部長に指示をして、東三河建設事務所に道路や歩道整備の要望活動を行っておりますので、委員のおっしゃるように、なかなか事業費もかかる話ですので、一朝一夕にはいかないと思います。いずれにしても、そういう要望活動を行いながら、歩道設置に向けて対応していくように、今、動いております。</p>
横田委員	<p>出荷場から赤羽根中学校までの歩道整備は、旧赤羽根町のときにも20年ぐらい前に話があって、全然進んでいない。だから、非常に難しい話かなと思います。</p>
教育部長 横田委員	<p>信号から八王子に向かって一部分しかなかったと思います。</p> <p>そういうこと以外についても、もし課題があつたら、私たちに教えてください。特に私は泉地域に教え子がたくさんいて、余り下手なことを個人的に私は言えないので、何か聞かれたら、今、こういうことを教育委員会としては検討していますよと言えますので、ぜひお願いします。</p>
教育部長	<p>統合準備の中でもいろいろな話題が出てくると思いますので、また委員の皆さんにも情報提供させていただきたいと思います。</p>
横田委員 教育長	<p>お願いします。</p> <p>通学路の問題以外で、部活動では、野田中学校の場合は、数は少ないですが、田原中学校と同じような種類の部活動がほとんどありました。伊良湖岬中学校が福江中学校へ行くときも、福江中学校にあつて伊良湖岬中学校にない部活動もありますが、比較的幅広くあります。赤羽根中学校と泉中学校が統合するときに、部活動のことを考えていく必要があります。すぐにできることではないので、交流も含めて、部活動の心配は泉の保護者からたくさんありました。泉中学校にない部活動のこともあるので、泉中学校と赤羽根中学校については、どのように今後部活動をやっていくかというのが、人数が少ない中で考えていく部分かと思っています。ほかにはどうですか。</p>
教育総務課長 教育長	<p>泉地域からの主な要望は、通学路などについてです。</p> <p>通学はスクールバスでというようには言っているのだけれども、いつもスクールバスが出るのか、土曜日や夏休みはどうだとかいうこと</p>

横田委員
教育長

は聞かれておりますので、そういう部分はもちろんクリアしながら進めていくのですけれども、あわせて自転車を使えないかという御意見もありました。

恐らく遊びに行くこともだんだんできると思います。でも、八王子からのカーブは、信号が少なく、車がスピードを出して走るので、自転車では危険です。

この時期も風が強いので、風に飛ばされそうで危険ですね。

一つ入った農道あたりが、軽トラックが来るかもしれませんがけれども、見通しは悪くないのだけれども、また、その辺を気をつけていきたいなと思います。

では、そのほか、いかがでしょうか。

お諮りいたします。

議案第28号 泉中学校再編整備方針について、原案どおり可決することに御異議ございませんか。

(「異議なし」と言う者あり)

教育長

御異議がないようですので、議案第28号につきましては、原案どおり可決いたしました。

では続いて、議案第29号 田原市立小中学校冬季休業日の変更について議題といたします。事務局、説明をお願いいたします。

教育総務課長

議案第29号 田原市立小中学校冬季休業日の変更について、平成28年度に限りまして、田原市立小中学校の冬季休業日については、次のとおりの期間とするものです。平成28年12月24日から平成29年1月5日までとするものでございます。

提案の理由といたしましては、田原市立学校管理規則第7条第3号に、冬季休業日の期間が12月24日から1月6日までと規定されております。その1月6日を課業日、3学期の始業式とするために、この変更についてお願いをするものでございます。

以上、説明とさせていただきます。

教育長
横田委員

説明が終わりましたので、御質問等ございましたら、お願いします。休業日の変更については、学校からの要望ですか。授業日数の確保なのか、理由は何ですか。

教育総務課長

理由は、愛知県都市教育長会議で1月6日は課業日にしようと決めまして、各市に周知し、それに対して皆さん同意して休みにしようとなっていたものです。

横田委員

1月6日を休みにすると、始業式が1月10日になります。

理由はどうですか。田原市単独ですか。

教育総務課長

愛知県都市教育長会議の中で、最初、話がありました。

市単独ではなく、東三河の市では、豊橋市を除く豊川市、蒲郡市、新城市で1月6日を課業日にする予定です。

教育長

市町というよりは、尾張や三河部というところでの決定でした。東

横田委員

三河地域も1月6日は課業日としたのですけれども、特に西三河では、1月6日は休みにしようと思ったようです。東三河は、5市が1月6日を進んでいたのですけれども、豊橋市は、2学期制ということも含めて、この1月6日は休業日としています。

教育長

三重県鈴鹿市の終業式と始業式の給食カットのように問題にならないければいいです。

田原市では、始業式、終業式に給食は全くやっていません。私も教育長として市長にいろいろな場面ごとに報告はしています。総合教育会議もやっておりますし、今回の三重県の鈴鹿市の事例では市長が聞いていないということで立ち上がってしまったので、最終的に市長も謝罪を入れながら、新聞報道などのように、非常食の配付というような形でおさめているようです。ある意味、市の連携や報告体制が問われているなと思いました。

教育部長

うちも含めて1月6日の3学期始業式について、田原市立学校管理規則に合わないので、今回、こうやって議題とさせていただきました。

田原市立学校管理規則上は、冬季休業日が12月24日から1月6日までになっていますけれども、必要なことを教育委員会で定めることになっており、教育委員会で決めた休業日です。今回限りですので、教育委員会で御審議いただいて決定する形にさせていただきました。

教育長

議案第29号 田原市立小中学校冬季休業日の変更について、原案どおり可決することに御異議ございませんか。

(「異議なし」と言う者あり)

教育長

御異議もないようですので、議案第29号につきましては、原案どおり可決いたしました。

続いて、議案第30号 田原市図書館協議会委員の任命についてを議題といたします。事務局の説明をお願いいたします。

渥美図書館長

田原市図書館協議会委員の任命についてです。毎年3回程度、協議会を行っております。その委員の方々の任期が2年になっておりまして、この11月30日で任期満了となりますので、改めて委員の方を任命するものでございます。

9名の委員について、全ての方が再任となっております。名簿をごらんください。1番、2番は小中学校の先生にお願いしております。

3番は、学識経験者ということで、この方は豊橋創造大学の図書館職員の方にお願いしております。

4番目、別所興一さん。御存じの方も多いかと思いますけれども、元愛知大学の教授ということで、この前、出された「渥美半島の風」という本の編集委員もやっておられる方です。

次に5番目が、一ツ田正和さん。元市職員の方ですが、現在はイノチオアグリ（元イシグロ農材）に勤務しておられる方です。

6番、内浦有美さん。この方は豊橋で「ばったり堂」という会社を

教育長
横田委員
渥美図書館長
教育長
文化財課長
渥美図書館長

山本委員

渥美図書館長
教育長

教育長

横田委員

経営しておられまして、地域の情報発信、人材交流サロンのような内容の会社をやっておられます。この方は図書館にかなり関係がありまして、ついこの間のイベントをやったときなどでも、コーディネーター的な形で、お手伝いをお願いしている方です。

7番目、小澤美穂子さん。この方は図書館フレンズの田原会ということで、市のまちづくり市民会議の委員をやっておられます。

8番、北原初代さん。この方は渥美虹の会という障害者支援の団体の代表です。

9番、永田みよ江さん。この方は農業ということですが、市の男女共同参画などの委員もやっておられるということで、以上の方々をお願いしています。

御質問等ありましたら、お願いしたいと思います。

なぜ12月1日なのですか。

理由は、はっきりわかりません。

民生児童委員さんたちも12月1日だったと思います。

博物館協議会もそうです。

たまたま1番の白谷先生も、平成29年3月で退職ということですが、3月まではやっていただくというようお願いしております。

平成29年4月からは赤羽根小学校の校長先生が就任されるのですか。

どなたが出ていただけるかを確認しながらお願いしています。

そのほか、よろしいですか。

では、お諮りいたします。

議案第30号 田原市図書館協議会委員の任命について、原案どおり可決することに御異議ございませんか。

(「異議なし」と言う者あり)

では、御異議ないようですので、議案第30号につきましては、原案どおり可決いたしました。

続いて、報告事項に入ります。

初めに、教育委員さんの連絡報告事項をお願いしたいと思います。

10月5日、田原東部小学校の学校訪問に行きました。

10月27日、赤羽根小学校の研究発表会に行きました。ワールドカフェ方式での研究発表で、すごく大変だったなという気がします。特に小学校は、どの学校でも一緒なのですけれども、地域と密着した内容が、今後、こういう研究でも多くなってくのではないかと思います。学校だけではなくて、地域と一緒に活動していくことがすごく大事ななと思います。今回の赤羽根小学校も、やはり地域と一緒にやっていました。だから、もう少し地域とともにということになれば、学校もオープンになって、どの学校でも地域に開かれて、出かけていくような学校運営がされるといいなと思います。

教育長
山本委員

学芸会については、あした、神戸小学校へ行きます。以上です。
山本委員。

10月17日、学校訪問で東部中学校と野田小学校、2校に行かせていただきました。

東部中学校は鳥居先生を初め、四役を初め学校の雰囲気がよく、先生たちのチームがすごくできているなということで、いろいろなことに取り組まれていました。校長先生が明るい職員室も明るいと感じました。東部中学校も不登校の子がいたり、それからいじめの問題もちらほらあって、それを解決したという話もありましたので、先生たちのチームが大事だと感じました。

午後は、野田小学校へ行きました。

10月27日、大草小学校に行きました。大草小学校の研究発表では、大草小学校の相撲のことなど、体を鍛えようということで、今回研究発表されていました。大草レンジャーという、すごく楽しい劇が見られました。頑張って、たくましい体、豊かな心。体、心、あとは生活習慣で睡眠をとりましようとか、ゲームばかりいつまでもやっていたはいけない。朝御飯を食べましようとか、そういうことをみんなで確認できた研究発表会でした。

各学校の先生たちも見学されていました。6年生の今泉先生の授業もすごく感動的でした。

11月12日、学芸会で東部小学校に行かせていただきました。東部小学校は、豊島大念仏、これは見なくてはいけないと思って見たのですが、毎年やはり人数が1人ふえたり減ったりして、精度の高い踊りで、太鼓の打ち方やリズムのとり方もすごく難しいのですけれども、頑張って練習していましたので見させていただきました。

それから、午後からは6年生が、アメリカ大統領リンカーンの話をやっていました。40分ぐらいの劇で、リンカーン役の人が4人、それから何役の人が4人、4人が入れかわり立ちかわり出て、55人ぐらいの子が全員参加という劇でした。ちょうど今の大統領選挙を感じさせるような内容でした。奴隷解放の話は、やはり感動しました。

教育長

せりふが多くて、担任からすると大変だけれども、6年生にやらせたいという劇ですね。

山本委員
教育長

先生に、本当にすごかったと褒めまくって帰ってきました。

学芸会で表現力を鍛えられる場面かなということで、歌もあるのですけれども、大きな声で発表する、せりふを言うというところで、演技もつけて、総合的な学習活動の一つで大切な学校行事です。今、野田小学校だけが学芸会がないということで、そういう状況です。

では続いて、土井委員、お願いします。

土井委員

私は、10月27日、赤羽根小学校の研究発表会に行かせていただきました。個々の先生たちの個性が出る感じがします。先ほど言われたよ

うに、赤羽根小学校はすごく活気あふれる研究発表会で、すごく見ていて私たちも楽しい感じに見受けられました。

10月31日、田原中学校と衣笠小学校の学校訪問に行きました。田原中学校はすごく大きい学校というイメージもあるので、生徒数もすごい、教室の中の圧迫感があると感じました。あと野田中学校と統合してから初めての学校訪問だったので、どういう感じなのかなと思いました。特に子どもたちの様子で気になるころもなく、順応性があって、子どもたちって、一緒になれば、すぐに打ち解けてうまくやっていけるんだなと思いました。

衣笠小学校は中学校の後に行ったので、小学校へ行くと、すごく活気にあふれて、ここも生徒が多いのですごく楽しそうだなと思いました。先生も言っていましたが、教室が少なく、特別教室を普通教室に使っている状況があるので、トイレが3階にないとか、生徒がふえてすごくいい反面、不便さも出てきてしまっているのかなと思うので、そういうところは少しずつ改善してもらえるといいと感じました。

あと、11月12日は福江小学校の学芸会に行きました。全部劇の学校でした。低学年の子は低学年の子なりに、一生懸命、せりふを間違えてでも大きな声で楽しそうに言っているというのがすごくよかったし、高学年の5年生の子は、とにかく声の大きい女の子が主役級のことをやっていたのですけれども、先生たちが、感情もこのように出したほうがいいよ、あのようにしたほうがいいよと練習をしてくれた成果だなと思って、本当に見ていて、とても楽しく思いました。

以上です。

校長先生の指揮による職員の器楽はごらんになりましたか。

そこは見ておりません。

校長先生が、指揮をやっておられ、校長先生をほかの職員が支えておられたというのが印象的でした。

あと一つ、田原中学校では、野田中学校と一緒に、今月秋の修学旅行に行って、その中でシティセールスもしてきたようです。1日目が雨で、次の日から風が吹いて寒くて、ディズニーランドの花火が中止になったというぐらいの強風でした。そのかわり、乗り物はよく回れたと聞いております。つけ足させていただきました。

では、金田委員、お願いします。

私は、10月24日、学校訪問ということで、神戸小学校と、午後から泉中学校に行かせてもらいました。

神戸小学校では、初めてのことなので、何もかも新鮮だなと思って見させてもらいました。特に高学年の子たちは落ち着いて授業をやっていたのですけれども、低学年の子たちは、割と騒がしいなと思う中、担任の先生以外にも、教育活動支援ということで、にぎやかなクラスにはスクールサポーターがついているということを学校教育課の職員

教育長
土井委員
教育長

金田委員

の方に教えていただいて、いいシステムだなと思いました。保育園のころから、にぎやかな子たちはわかっているの、小学校の1年生に上がった時点で、もしそういう制度があるなら、すぐに導入したほうがいいのではないかと思って、大きい学校なりの苦勞があるんだなと思いました。

あと、泉中学校は、統廃合で移動する側なので、統廃合があつて、みんな引き締まっているのかなと思いました。余りうまくは言えないけれども、いい雰囲気だなと思いました。

あと、学校の授業は45分ですか。

教育長
金田委員

中学校は本来50分授業です。

泉中学校では、部活動は冬はやらないと聞きました。それでやっているのは素晴らしいことだなと思いました。それでいいのかなとも思いました。

教育長

本来は50分授業ですが、45分授業にして、部活動の時間をつくり出しているという感じですね。

今、部活動は、大きな学校では朝練をいろいろ考えています。私がいた田原中学校も、12月、1月、2月は、朝の練習はなしとしています。特に早めに出てくると、暗いときから家を出て自転車で通学する子もいるので、朝練はなしにしていました。比較的小さい中学校は朝練を継続していきますので、冬でも走るとか、何かやっていますので、それぞれ学校の実情に応じた対応をしています。

金田委員

あと最後に、11月12日、大草小学校の学芸会に行ってきました。そのときに、新聞に統廃合のことが載ったけれども説明はないので、「何か説明があれば助かります」と保護者の方が言っていました。どちらかといったら、神戸小学校は受ける側なので、余り意識していないのだけれども、移動する側は、やはりそういったことは気にするのかなと思いました。以上です。

教育長
金田委員
教育長

小学校の統合はどうなっているのかということですね。

はい。

今年度末をめどに、どういう方向かを示して、少し緩やかにというようなことは考えていますけれども、また皆さんにもお伺いしたいと思います。

ありがとうございます。寒くなりますので健康に御留意されながら、お過ごしいただきたいと思います。

教育部長

次に、平成29年度当初予算要求の概要について報告します。

それでは、お手元の資料をごらんいただきたいと思います。

平成29年度予算要求調書集計表(教育部)、教育部の方針が14ページ。それから最後に、平成29年度予算編成確認事項(財政課)でございます。こちらで説明したいと思います。

来年度の予算要求総額でありますけれども、27億7,230万9,000円で、

今年度の予算額30億2,926万7,000円に対しまして、マイナス2億5,695万8,000円、8.5%の減という状況でございます。

また、これは後ほど財政課の資料で説明いたしますけれども、要求上限額が、教育部の場合は26億7,405万3,000円に対しまして、財政から指示された額に対しまして、9,825万9,000円超過という状況になっております。

この要求上限額、あるいは指示された内容について、説明をしたいと思っておりますので、後ろの財政課の資料、平成29年度予算編成確認事項をごらんください。

これは、市の管理職向けに説明会が行われたときの資料です。追加して細部にわたってシーリングをかけていくための考え方の根拠をまとめているものであります。

留意点追加をごらんいただきますと、来年度の予算は、財政調整基金の取り崩し21億円などによって、本年度から大幅に減少する財源を補って、どうにか270億円を確保できるという状況にあります。

さらに、その先の平成33年度には、今以上に歳入が20億円以上減少して、市の財政規模としますと、250億円前後になることが避けられない状況でございます。したがって、最小の経費で最大の効果が得られるように取り組んでいく必要があります、以下5点が掲げられております。

また、次の2点目の編成の要件につきましては、ごらんいただきますと、各部の予算要求の要求総額、要求上限額を割り出しております。

来年度予算において、歳入が厳しくなる理由といたしましては、法人市民税と地方交付税の減収によって、本年度に比べて34億円の歳入減になります。

これに対して、貯金であります市の財政調整基金を21億円取り崩すという緊急対応などの方法によって、予算総額270億円台を確保することができるという緊急事態であります。平成30年度以降も、少なくとも、あと20億円以上減ることが確実であるという歳入の状況でございます。

それから、歳出要求の目安の設定でございますが、各部要求してもらおう際の目安としては、我々地方公共団体の場合は、基本的に市民の皆さんの税金を中心とする歳入の額に応じて予算を組むというのが大原則でございます。仮に地方債という、いわゆる借金をしても、結果的には、将来税金でそれを返済していかなければならないこととなります。したがって、要求の目安としては、人件費、要保護者・準要保護者の就学援助などの扶助費、公債費、いわゆる借金、そうしたものはどうしても削ることができない部分でもございますので、それらを除いた経費をシーリング対象として、歳入に見合った形で圧縮を考えなければならないということから、歳入に見合う試算をしたところ、平成28年度の予算に対して12%削減しなければ対応できないという試

算が出ております。

裏面をごらんいただきますと、各部課の本年度の予算額と平成29年度の予算要求上限額が示されております。例えば教育部をごらんいただきますと、上限額は、26億5,000万円で、本年度に対しまして3億5,200万円減らしてくださいという指示が来ております。また、各課への指示もございます。そういった状況を委員の皆さんにも御理解いただきたいと思っております。

市全体で痛みを分かち合っていくという状況の中で、例えば産業振興部などは、30%ぐらいの減という状況もございます。次に、カラーコピーをごらんください。2ページ目の下の2、市の財政運営の状況で、法人市民税の税率が、平成26年度以前は12.3%だったものが、平成26年度には9.7%、平成31年度6%という形で税率が軽減されてまいります。それから、地方交付税の算定替で、合併をいたしておりますので、合併後10年間は、旧町でいただいていた地方交付税が据え置きとなっており、その後の5年で段階的にゼロになっていくものです。平成15年、平成17年の合併でありますので、平成33年には合併算定替がゼロになってしまうという状況を御理解いただきたいと思っております。

この財政状況を踏まえて、教育部の方針の資料をごらんいただきたいと思っております。

重点事業として、教育総務課としてはシーリング12%でありましたが、9.8%の減という状況でございます。来年度、南部小学校の建設。これは子どもたちがふえることによって普通教室や特別支援の教室が足りないという状況でございますので、どうしてもやらざるを得ないということです。

それから、伊良湖岬小学校整備事業。これは、用地補償等の経費です。伊良湖岬中学校の統合時期が決まっておりますので、それに向かって伊良湖岬小学校の整備に伴う経費が載せてございます。本年度、当初予算では、野田小学校体育館が完成いたしますので、トータルではプラスマイナスゼロ程度という形ですが、どうしても削れない経常経費がございますので、9.8%の減という状況になってございます。

次に、学校教育課でございます。前年度と比較して5.4%減の状況でございます。

重点事業としては、学校教育推進事業の中で、教員の多忙化解消のための校務支援システム、本年度、開発費が載っておりますけれども、来年度、本格運用してまいりますので、それにかかわるランニングコストがかかってまいりますので、人件費等を削っても、目標には達しないということでございます。

また、右側のページで国際理解推進事業でございます。平成32年度から小学校で英語活動が教科化されるのを見据えて、研究モデル事業を実施してまいります。

共育推進事業の見直し内容でございます。特別な支援を必要とする児童生徒に適切な支援を行うため、特別支援教育特別支援員を配置します。

4 ページ目、生涯学習課がございます。

対前年度比12%でございます。児童クラブ、放課後子ども教室等、あとは市民館の整備等が重点事業ということでございます。

スポーツ課につきましては、プラス2.3%でございます。5 ページ目の中段、③渥美運動公園整備事業でございます。渥美総合体育館の耐震が足りないということで、本年度、補正によって設計し、その本体工事を来年度実施するために、若干、昨年度に比べて予算額がオーバーしている状況でございます。

スポーツ団体支援事業、スポーツ大会支援事業については、このような形で計上させていただいております。ただし、大会支援につきましても、補助金等については減額させていただいております。

また、文化財課につきましては、対前年度比16.5%減でございます。大きくは、本年度、田原・赤羽根史現代史編が年度末に刊行予定でございますので、その分が減額になります。ただし、6 ページの中段の下のところにも書いてございますが、田原藩の翻刻業務を博物館運営事業の中にシフトして対応していく予定です。

また、崙山会館、池ノ原会館の指定管理者も、崙山会館については、総務課から予算を所管替しておりますので、その経費が乗っている状況でございます。

最後の図書館につきましては、前年度比5.1%減でございますが、来年度15周年を迎えますし、いろいろな形で経費の節減は行いましたが、資料収集、図書等は、やはり図書館の心臓部分でありますので、どうしても削れない部分ではあります。それでも過去最低の状況ではございます。

何とかこういう形で、部としては、指示されたシーリングに対しましてオーバーしておりますけれども、これを指示された内容にすると、学校の営繕関係は全てやめなければ対応できず、それでも足りないぐらいであり、場合によっては、渥美総合体育館の耐震をやめざるを得ないという形になりますから、人命、あるいは子どもの学校現場におけるハード的な教育環境の整備は最低限行わざるを得ないという部分もございまして、そういう形で要求させていただいております。

今後の予定としては、年末に査定結果が出ます。市全体としては11億円ほどオーバーしていると伺っています。また、年明けには復活ヒアリングという形になりますので、今の途中経過ということで御理解いただきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。以上です。

資料がたくさんある中で、何か質問等がありましたらお願いします。もっと問題点がたくさんあるのではないかと思うのだけれども、見

教育長
横田委員

教育長

ていて、9ページの資料が一番わかりやすい。

非常に予算のカット額が大きい状況です。来年もさらに予算が減額されていきます。来年度、再来年度と、一気に財布のお金が6分の1取られてしまう状況の中で、学校だけは何とか維持したい。今年度、一応12.5%カットを目標に予算をつくってくれと言われたのだけれども、圧縮したくてもやり切れないものがまだ幾つかありますが、いろいろ切り盛りして、今、出してきたわけです。年末には査定結果が出て、それで私たちも復活ヒアリングに臨んで、そこでまた攻防戦があります。もうこれ以上は譲れないラインで今回出しているの、引き続き、横田委員に指摘していただきましたように、問題点は続いていきますし、教育はある意味、田原市の未来を方向づける大事な部分なので、その部分を再三伝えていきたいと思います。

学校側にも、部長から校長会に説明していただいたのですけれども、どれだけわかってくれたかなというところです。先ほど土井委員がおっしゃったように衣笠小学校では、教室が足りず、特別教室を普通教室として使用しているため、もともとトイレも少ないところをずっと何とかやってきたところ、そろそろ改修できないかというところでしたが、なかなか予定が一気にストップしたかなということで、厳しい状況です。

横田委員
教育長

あと二、三年ですね。伊良湖岬小学校をつくらなければいけない。

プールが傷んでいるところで、よその市町も同じだと思うのだけれども、プールを維持しながら体育の授業をやっているわけですが、非常に短期間の使用期間に対して、機械やプールの中や周りも傷んでしまいます。教育総務課としては修繕をやり切れない部分も出ています。子どもの安全はどうだと言われたとき、お互いに厳しい状況があるので本当は市当局に問いたいわけです。とにかく安心安全の部分は最優先にと考えているのですけれども、ある意味、急降下的にこういう要素が来たので、教育委員会だけではなくて、他部署もまいつている状況です。

教育委員会としては、復活ヒアリングに向けて頑張りますけれども、厳しい状況は、来年度、再来年度続いていくということで御理解いただきたいと思います。

続いて、学校再編についての報告をお願いいたします。

教育総務課長

では、口頭で説明させていただきます。

先ほどお認めいただきました泉中学校の再編整備方針につきましては、きのう、案という状況で文教厚生委員会に報告してございます。今後、11月21日にコミュニティ協議会の理事会で報告させていただく予定であります。

次に、11月24日の市長の定例記者会見でも、同じ内容について報告予定です。

教育長

教育総務課長

教育長

スポーツ課長

あと、伊良湖岬中学校統合準備委員会を11月29日に第1回目を開催していく予定ですので、よろしくお願いたします。

コミュニティの関係の皆さんですとかPTAの関係、学校関係者の方々を準備委員会のメンバーといたしまして、伊良湖岬中学校区だけではなくて、福江中学校区の方も同じように来ていただいて、統合準備委員会を立ち上げていこうと思います。

ただ今、児童生徒数の見込み表をお配りいたしました。

平成29年度1,799名、平成33年度1,700名になっておりますので、また参考にしていただければと思います。

下のほうには学級数が書いてございます。

学校再編については以上です。

学校再編についての説明がありましたけれども、いかがでしょう。

来週、コミュニティや市長の会見の予定となっております。

続いて、小学校の寄附について、報告をお願いします。

平成28年度教育関係（小中学校）寄附一覧をごらんください。

No.3までは、この前、5月の定例会のときに報告させていただいております。4番目から7番目までについて、報告させていただきます。

5月20日、豊橋ベンチャークラブから、市内の小中学校図書館に、地域社会の貢献ということで、「おじいちゃん、戦争の話聞かせてください。」という図書を21冊寄附していただきました。

9月29日、田原パシフィックロータリークラブから、市内の小学校18校に、小学校の読書振興のため絵本206冊を寄附していただいております。

これは、田原のNPO法人と田原パシフィックロータリークラブが図書館と一緒に、おはなし会で絵本を楽しもうという事業をやって、その中で選ばれたものを学校に寄附していただいたというものでございます。

10月12日、三河ミクロン株式会社から、花いっぱい運動推進のため、花壇用の用土31.5立方メートル、800袋を寄附していただいております。ほかに、保育園にも寄附されております。

10月27日、田原東部小学校の同窓会から、東部小学校の体育館用時計を寄附していただいております。以上です。

寄付についての説明がありました。何か御質問がありますか。

いろいろな方から御寄附をいただきまして、本当にありがたいことだなと思います。

では、その他、何かございますか。

スポーツ課です。きょう、中部北陸実業団駅伝用に走路補助員が着る黄緑のジャンパー、大会の記念プログラムを配付いたしました。大会は、あさってが本番になります。御存じのとおり、ニューイヤー駅伝の予選会になっておりまして、ニューイヤー駅伝ではトヨタ自動車

が2連覇しています。伊良湖を9時にスタートしまして、はなとき通りには1時ごろのゴール予定になっています。

田原市では5回目の開催となりますので、盛り上げようという企画の中では、東三河と西三河の高校の選抜チームが日本のトップアスリートと一緒に走る機会をつくりました。伊良湖からサンテパークまでを9区に分けて、実際の実業団の選手の1区間を、2区または3区に分けて、つないで高校生と一緒に走る。そのぐらいにすると、結構高校生でもついていけそうなタイムになるということで、そういった選抜チームが今回走ります。

当日は、YouTubeで、スタート地点、たすきをつなぐ部分、先頭を走っている顔などの映像を見ることもできますので、ぜひスマートフォンを活用して、臨場感のある応援をしてもらいたいと思っています。よろしくお願いします。以上です。

教育長

あしたが開会式、あさってが本番です。

いい走りができるといいかなと期待しております。

ほかにいかがでしょうか。

生涯学習課長

来週の水曜日、11月23日に、「渥美半島の縄文文化を探る 海をめぐる渥美半島の魅力」という演台で田原市文化会館多目的ホールでシンポジウムが開催されます。ぜひともお時間がありましたら、お願いします。

教育長

そのほか、いかがでしょうか。

では、本日の議事は全て終了いたしました。御協力ありがとうございました。これもちまして、田原市教育委員会第11回定例会を閉会とさせていただきます。お疲れさまでした。

閉 会 午前11時40分